

青森空港の天井に出現した大型装飾幕

昨年7月に全面リニューアルを果たした青森空港旅客ターミナルビルでは、国内線到着ロビー天井に、巨大な装飾幕が出現。来訪者を迎えている。

装飾幕は、布メディアの周囲にエッジラバーを縫製し、フレームにはめ込んで展張させる「ファブリックサインシステム」。サイズは13.8×3mと国内最大級。幕材は防災ファブリックが採用され、UVプリンターによる1枚もので出力した。LEDバックライト光源で点灯させ



ている。

前回の新千歳空港の事例に続き、今回採用されたファブリックサインシステムは、㈱リディアワークスの「LUFAS(ルーファス)」。フレームの溝に細かい突起がついた独自構造で、製作寸法のズレを気にせず展張できるのが特徴。対応メディアが幅広く、通常のテキスタイルのほか、FFシートも使用できる。

㈱リディアワークスの小林史人社長は、「当社のルーファスは、特許構造による施工のし易さに加えて、大型に対応する点、幅広いメディアが使えることが特徴です。不燃FFなど伸びないシートをどう展張するか、継ぎ目のない1枚もので大面積に対応できないか。ルーファスは、皆様の要望に柔軟にお応えしていきます」と語る。

欧米では、ファブリックによるサイン・



ディスプレイが一般化している。まだ途上とは言え、国内においても認知拡大が進み、様々な「ファブリックサインシステム」が登場。サイン製作会社の視点を持って開発された「ルーファス」は、現場施工で苦勞しない様々なノウハウが凝縮されている。是非一度実際に触って、性能を確認して欲しい。

利用客や広告主から大きな反響

青森空港ビル 株式会社
総務部長 田辺 孝志氏

今回のリニューアル増改修工事では、利用者の利便性とサービス向上のための機能向上を図り、“真に魅力ある空港”をコンセプトに、施設設計から空間演出まで、全てを一新しました。

到着ロビーの装飾幕は、空港に到着されたお客様に「青森らしさをインパクトのある形でアピールしたい」という意図で採用しました。天井との一体感があり、明るくきれいだというのが感想です。お客様からも大変注目頂き、撮影している風景をよく見ます。シーズンごとに絵柄を変更し、飽きさせない運用を予定しています。

広告媒体にもファブリックサインシステムを採用しましたが、広告主からも非常に好評。売場が続いています。アクリルに替わる新しい広告の見せ方として、今後も重宝していきたいですね。



総事業費約40億円をかけて増改修された青森空港は、内装に青森県の木製品ブランド「BUNACO(ブナコ)」がふんだんに採り入れられている。「ルーファス」は、大型装飾幕のほか、広告媒体として27基、フードコートの間接照明としても採用されている。

展示会出展情報 会期：3月3日(火)～6日(金) 会場：東京ビッグサイト 西・南ホール

第49回 店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2020 西3ホール内 小間番号：JS-2133

第26回 建築・建材展2020 南4ホール内「GOOD DESIGN BizZONE」 小間番号：AC-2337



電照ファブリックサインシステム「LUFAS(ルーファス)」グッドデザイン賞 ベスト100 受賞



お問い合わせ先

株式会社リディアワークス
〒130-0023 東京都墨田区立川 3-6-5
Tel 03-6659-5215 Fax 03-6659-5217

✉ info@lufas.jp 24時間受付中
LUFAS 特設サイトはこちら ▶ http://www.lufas.jp

lufas × 🔍